

第三級海上特殊無線技士試験問題

無線工学

(注) 次の各問題の記述について、正誤のいずれかを選び、答案用紙の答欄に正しく記入(マーク)すること。

1. 電離層波は、大地や海面に沿って伝わる。
2. SSB 方式は、周波数変調の無線電話に用いられる。
3. クラリファイヤは、受信した SSB 電波の明りょう度が悪いとき、聞きやすくするために使用する。
4. 無線電話装置の「音量」つまみは、送信中の電波を弱めるときに使用する。
5. 電離層の状態は、昼間と夜間又は季節等によって変化する。
6. スリーブアンテナは、全方向性(無指向性)アンテナである。
7. FM 送受信装置の「スケルチ」つまみは、受信中の電波が強すぎるときスピーカから出る大きな雑音を消すために使用する。
8. 短波は、電離層(F 層)で反射する性質があるので遠距離の通信に適している。
9. チャンネルつまみは、送受信周波数を希望する周波数に合わせるために使用される。
10. 船舶用レーダーは、アンテナ位置が海面より高いほど探知距離は延び、探知できない死角範囲は狭くなる。